



白浜町 議会だより

No. 79

令和8年（2026）2月
発行 白浜町議会
編集 議会広報特別委員会



CONTENTS

令和7年第4回定例会	2～7
一般質問	7～9
活動報告	10～12
町議会・町議会議長の主な動き	13
次回定例会日程など	背表紙

（二十歳を祝う会：アドベンチャーワールド）

第4回 (12月) 定例会

- 令和7年第4回定例会は、12月2日招集、16日間の会期で開催され、当局提出議案などについて審議し、すべて可決・同意しました。
- 条例改正**
- 白浜町税条例の一部を改正する条例について
 - 白浜町小公園条例の一部を改正する条例について
 - 白浜町安全で快適な海水浴場の確保に関する条例の一部を改正する条例について
 - 白浜町火災予防条例及び白浜町火入れに関する条例の一部を改正する条例について
 - 専決処分の承認について
 - ・物損事故に対する損害の賠償
- 計 2件
- その他
- 白浜町（日置川地域）過疎地域持続的発展計画の策定について
- ※概要是3頁下段を参照

瀬見新守
瀬見み田守
幸喜昌司
(富田)

○富田共有財産組合委員会委員
耕太郎
(保呂)

委員の選任について、次の方
を同意しました。
(順不同、敬称略)

人事案件

第4回(12月)定例会の概要

- 12月2日(第1日)
 ・会期決定、議案提案説明
- 12月11日、12日(第2日・3日)
 ・一般質問(5名)
- 12月16日(第4日)
 ・議案審議、追加議案提案説明
- 12月17日(第5日)
 ・議案審議、追加議案提案説明、発委・発議案件

工事請負契約

○町道小森3号線道路災害復旧工事

【工事場所】
・白浜町寺山地内

【契約金額】
5753万円

【契約の相手】

・白浜町日置525番地
日置川開発株式会社
代表取締役 森田 清郎

【契約の方法】

・指名競争入札による契約

報告

○第57期南白浜温泉株式会社経営状況の提出について

- ・赤坂会館の指定管理者の指定について
 ・富田会館の指定管理者の指定について
 ・平会館の指定管理者の指定について
 ・芦長集会所の指定管理者の指定について
- ・庄川会館の指定管理者の指定について
 ・内ノ川ふれあい会館の指定管理者の指定について
 ・羽衣会館の指定管理者の指定について
 ・保呂集会所の指定管理者の指定について
 ・市江区民会館の指定管理者の指定について
 ・久木集会所の指定管理者の指定について
 ・大集会所の指定管理者の指定について
 ・滝区民会館の指定管理者の指定について
 ・滝区民会館の指定管理者の指定について
 ・白浜町老人憩の家「松湯荘」の指定管理者の指定について
 ・白浜町高齢者生活福祉センター夢の里の指定管理者の指定について
 ・白浜町立美術館の指定管理者の指定について
 ・白浜町国産材需要開発センターの指定管理者の指定について
 ・白浜町青年会館の指定管理者の指定について
 ・白浜町日置青年会館の指定管理者の指定について
 ・白浜町営向平キャンプ村の指定管理者の指定について

- ・庄川会館の指定管理者の指定について
 ・内ノ川ふれあい会館の指定管理者の指定について
 ・羽衣会館の指定管理者の指定について
 ・保呂集会所の指定管理者の指定について
 ・市江区民会館の指定管理者の指定について
 ・久木集会所の指定管理者の指定について
 ・大集会所の指定管理者の指定について
 ・滝区民会館の指定管理者の指定について
 ・滝区民会館の指定管理者の指定について
 ・白浜町老人憩の家「松湯荘」の指定管理者の指定について
 ・白浜町高齢者生活福祉センター夢の里の指定管理者の指定について
 ・白浜町立美術館の指定管理者の指定について
 ・白浜町国産材需要開発センターの指定管理者の指定について
 ・白浜町青年会館の指定管理者の指定について
 ・白浜町日置青年会館の指定管理者の指定について
 ・白浜町営向平キャンプ村の指定管理者の指定について

○令和7年度白浜町一般会計補正予算（第5号）		○令和7年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
・既定予算への補正額	3億4000万円	・既定予算への補正額	27億5530万円
・補正後の歳入歳出予算総額	158億5580万円	・補正後の歳入歳出予算総額	78万円
・主な補正内容	【総務費】 ふるさと白浜応援寄附金事業	・主な補正内容	【介護保険料】 既定予算への補正額
【総務費】 平川・庄川改良事業	5099万円	【介護保険料】 町道小山線道路改良事業	1214万円
【土木費】 障害者自立支援給付費等	5790万円	【土木費】 障害者自立支援給付費等	34億7230万円
○令和7年度白浜町一般会計補正予算（第6号）	5099万円	○令和7年度白浜町介護保険特別会計補正予算（第3号）	86万円
・既定予算への補正額	2億3000万円	・既定予算への補正額	7億6854万円
・補正後の歳入歳出予算総額	160億8580万円	・補正後の歳入歳出予算総額	1772万円
・主な補正内容	【総務費】 生活支援商品券配付事業	・既定予算への補正額	既定予算への補正額
【総務費】 生活支援商品券配付事業	2億3000万円	【介護保険料】 既定予算への補正額	既定予算への補正額
資本的支出	2億3000万円	資本的收入	1210万円
資本的支出	1億592万円	資本的支出	1210万円
資本的支出	1612万円	補正後の収入支出予算総額	補正後の収入支出予算総額

Pick Up ! ①

全員協議会（11月18日開催）

白浜町（日置川地域）過疎地域持続的発展計画の更新

令和3年度から令和12年度までの10年間の時限立法である「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行から5年を迎えることから、過疎計画（令和3年度～令和7年度）においても現況への修正など変更が必要となっていることから、計画期間を令和8年度から令和12年度として、計画の更新を行うもの。

◆計画の概要

【地域の持続的発展の基本方針】

- ①参画・協働と連携・交流の促進
- ②産業振興と雇用確保
- ③保健・医療・福祉の充実
- ④生活環境の整備・充実
- ⑤地域基盤の整備・充実
- ⑥教育・文化の充実

【地域の持続的発展の基本目標】

「第2次白浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標の取り組みを進めることにより、本計画期間終期の人口を町全体で19,198人、日置川地域で2,797人とすることを目標とする。

【計画の達成状況の評価】

「第2次白浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、基本目標および各施策の重要業績評価指標（KPI）を設定し、計画期間の最終年度に効果検証を実施する。

【計画期間】

令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間

（補足）全員協議会での協議を経て、本計画の策定に関する議案が令和7年第4回（12月）定例会に上程され、全会一致で可決されました。

Pick Up ! ②

全員協議会（11月18日開催）

リヴァージュ・スパひきがわの公募売却先の決定

これまで指定管理契約により運営を行ってきた当該施設について、経営悪化等を理由に、令和8年4月1日以降の運営については、民間経営によることとして、施設等の売却に関する公募入札を実施しました。

◆選定した最良の提案者の概要

- ・会社名：株式会社 和み
- ・所在地：和歌山県和歌山市吉田386 和歌山プラザビル402
- ・事業内容：不動産業、M&A、事業継承、まちづくり、飲食、物販、イベント企画 等

◆施設の活用案

現状の施設を活用し、地域に開かれたウェルネスコミュニティをうたった温泉施設付宿泊施設として、また、当該施設をハブ施設としてフロント機能も担い、周辺の空き家を分散型ホテルとして活用する。



質疑抜粋

問) 売却にあたり、売却先の企業と地元町内会・区などが共存できるような契約条項が必要と考えるが、いかがか。
答) 地域住民と良好な関係のもとに運営していただけるよう、その旨、遵守事項として契約に取り入れる予定である。また、当該事業者は地域密着型の運営を検討しており、地元商工会や観光協会、地域の方々にもご協力いただきたいということでお声がけいただいている。

Pick Up ! ③

全員協議会（12月2日開催）

宿泊税制度の導入に向けた取り組み

全国有数の国際観光立町「白浜」を目指し、旅行者の満足度や利便性、快適性を高めるとともに、住民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため、宿泊税制度の導入に向けて取り組んでいる。

◆これまでの経過と今後のスケジュール

令和7年4月 1日	宿泊税導入に向けた関係課協議
6月 3日	町議会 全員協議会で取り組み経過の説明
7月	県市町村課、地方検察庁、総務省との協議
8月19日	町議会 全員協議会で取り組み経過の説明
10月30日	第1回宿泊税検討委員会の開催
11月10日	宿泊者や宿泊事業者へのアンケート調査（～12月31日）
18日	宿泊事業者説明会の実施（18日、19日、20日）
26日	白浜温泉旅館協同組合への説明会の実施
12月 2日	町議会 全員協議会で取り組み経過の説明
令和8年1月 下旬	第2回宿泊税検討委員会の開催
月	総務省との本協議、徴収事務説明会 等
令和8年度中	宿泊税導入開始（予定）



「白浜はまゆう病院の経営状況についての正確な情報発信と十分な議論を求める請願書」

総務文教厚生常任委員会に付託した請願第2号について、審議の際に廣畠議員から反対討論があり、起立採決の結果、不採択とすることに決定しました。

請願審査報告書 概要

・受理番号	令和7年 請願第2号
・受理年月日	令和7年6月3日
・件名	「白浜はまゆう病院の経営状況についての正確な情報発信と十分な議論を求める請願書」
・請願者氏名	榎本 清司
・紹介議員	廣畠 敏雄
・審査結果	不採択とすべきもの

【廣畠議員 反対討論要旨】

町は、町内会や区長会などに対する説明会で、白浜はまゆう病院の病院経営の対応が不十分であると説明を行ってきたが、その説明会では、病院側の話も聞くべきであるとの意見も出されていた。

また、全国の8割近い病院が赤字になっているとの報道もあり、病院経営が悪化している状況は全国的なもので、白浜はまゆう病院に限ったことではない。こうした全国の病院をめぐる状況は、診療報酬が十分でないなど、国の医療政策が間違っていることが原因と考える。

このような理由から、請願を不採択とすることに反対する。

【請願審査 委員長報告】

本請願は、令和7年6月3日に当議会に提出され、令和7年請願第2号「白浜はまゆう病院の経営状況についての正確な情報発信と十分な議論を求める請願書」として、6月12日に当委員会に付託されました。

付託を受け、委員会では、6月17日、8月19日、9月17日、11月18日の計4回にわたり審査を行いました。

審査の過程では、委員から、「9月議会に上程される出えん金に関する議案も加味して審議すべきではないか」、「町のこれまでの対応を十分に見極める必要がある」、「町は、公開の場においても正確な情報発信に努めており、病院側にもその対応を求めている」といった意見が出されました。

また、町当局はこれまでに、全員協議会を通じ、はまゆう病院の現状や経営状況、町と病院との協議の経過やその対応などについて、詳細な説明を行ってきました。また、住民に対しても、7月29日の日置川区長会、白浜連合町内会、8月7日の富田区長会で説明会を開催するとともに、町広報9月号において、病院の運営形態の変更などについて説明を行ってきました。

一方、9月17日に開催された本会議では、「病院事業の民営化や自立経営を求め、病院に対する町の権利を放棄する議案」議案第70号「権利の放棄について」が上程され、賛成多数により可決されました。この審議結果を受け、請願第2号の願意については、これ以上審議を進めることが困難であるとの結論に至り、委員会において採決を行ったところ、請願第2号は、全会一致をもって「不採択とすべきもの」との結論を得ましたので、会議規則第94条第1項の規定に基づき報告をいたします。

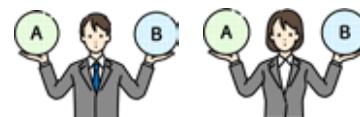
第4回(12月)定例会 審議結果一覧



件名	結果	廣畠 敏雄	松田 剛治	小森 一典	溝口 耕太郎	堅田 府利	正木 秀男	辻 成紀	西尾 智朗	水上 久美子	長野 莊一
専決処分の承認について（損害賠償の額を定めること）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認について（損害賠償の額を定めること）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について（町道小森3号線道路災害復旧工事）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
赤坂会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
富田会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
平会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
芦長集会所の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
庄川会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
内ノ川ふれあい会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
羽衣会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
保呂集会所の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
市江区民会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
久木集会所の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
大集会所の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
滝区民会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町老人憩の家「松湯荘」の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町高齢者生活福祉センター夢の里の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町立美術館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町国産材需要開発センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
海来館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町日置青年会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町営向平キャンプ村の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町小公園条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町安全で快適な海水浴場の確保に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町火災予防条例及び白浜町火入れに関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和7年度白浜町一般会計補正予算（第5号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和7年度白浜町一般会計補正予算（第6号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和7年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和7年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和7年度白浜町介護保険特別会計補正予算（第3号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和7年度白浜町下水道事業特別会計補正予算（第3号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜町（日置川地域）過疎地域持続的発展計画の策定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
富田共有財産組合委員会委員の選任について	同意	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
白浜はまゆう病院の経営状況についての正確な情報発信と十分な議論を求める 請願書	不採択	○	×	×	/	×	×	×	×	×	×

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」とし、議長は通常、採決に加わらないため、「/」としています。

第4回(12月)定例会 審議結果一覧



件名	結果	廣畠 敏雄	松田 剛治	小森 一典	溝口 耕太郎	堅田 府利	正木 秀男	辻 成紀	西尾 智朗	水上 久美子	長野 莊一
令和6年度白浜町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町簡易水道事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町農業集落排水事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町下水道事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町水道事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○

*議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」とし、議長は通常、採決に加わらないため、「/」としています。

一般質問

- 7ページ … 堅田議員「現庁舎の耐震化と新庁舎建設について」ほか
 8ページ … 小森議員「未来につながる学校教育について」ほか、廣畠議員「農業振興について」ほか
 9ページ … 松田議員「空き家対策の新たな方向性について」ほか、正木議員「観光施策について」ほか



堅田 府利 議員

QRコードの有効期限は3月下旬まで



(白浜町役場 本庁舎)

インフレ下における基金運用

問 白浜町の基金項目数と基金総額について伺う。

答 庁内検討組織として位置付けている白浜町庁舎建設等庁内検討委員会に全課長級の職員を任命し、府内一体となって取り組みを進め、令和8年2月の定例会において具体的な方向性を示したいと考えている。

新庁舎建設に向けた町の考えを伺う

答 令和8年2月定例会で具体的な方向性を示したい

庁舎の耐震化と新庁舎建設

問 現在の庁舎は建築後約65年が経過し、耐震改修はされているが、庁舎へのニーズも変化していることから、新庁舎建設の早期実現が必要と考える。当局の考え方を伺う。

答 基金項目は26あり、そのうち特別会計が3となっている。また、基金総額は67億704万5,734円である。

問 インフレが続く中では、名目上の金額が変わらなくても、実質的な価値は目減りする可能性がある。

答 記載のとおり、インフレにより実質金利がマイナスとなり、貨幣価値が下がることから、「お金」すなわち基金の実質的な価値は下がると理解しており、その対策として、定期預金より金利の高い債券の購入など、より金利が付く運用を検討したいと考えている。

問

未来の子どもたちに向けた町の教育構想は

答 生まれてきてよかつたと思える教育の実現

未来につながる学校教育

ながる白浜の教育」の姿を明確にしていきたいと考えている。

問 「まちづくりの基本は人づくり」という教育の基本理念が掲げられているが、平成の大合併から20年を迎え、少子高齢化、人口減少がさらに進行している。そこで、未来を担う子どもたちの教育環境の充実と人材育成について、当局の見解を伺う。

答 白浜町では、次期総合計画の策定を控え、将来の町の姿を見据えた教育の在り方が問われる重要な節目に立っていると認識している。

今後は、町としての教育の方向性を、総合教育会議をはじめ、教育大綱や教育振興計画の在り方も含めて改めて整理し、議会とも丁寧に意見を交わしながら、「未来につ



こもり かずのり
小森 一典 議員



QR コードの有効期限は3月下旬まで



(日置中学校)



ひろはた としお
廣畠 敏雄 議員



QR コードの有効期限は3月下旬まで



(町内の農地)

問

地産地消も含めた農業振興に向けた考えは

答 遊休農地対策など課題解消に向けて取り組む

農業振興

するなど、必要な対応をしている。

問 5ヘクタール未満の農家や経営面積の小さい兼業農家を育成していくことは、米作の自給、地産地消にも大切である。生産者と消費者の米の価格差について、町が補助できないか。また、農地の賃貸借契約が終了し、所有者に返却された場合の町の支援について伺う。

答 町の補助については、自由な市場での取引がされている中で、取引価格をどうするかなど、その制度設計が難しく、毎年継続した場合に上程し、阪田町民プールを気軽に利用できる多目的イベント広場等に転用できないかと考えている。

答 白浜美術館はかなりの築年数が経っていることから、歓喜神社を含めた今後の美術館の方向性を導き出すため、指定管理の期間を2年とする指定管理の議案を本議会に上程し、阪田町民プールを気軽に利用できる多目的イベント広場等に転用できないかと考えている。

問 高齢になって聴力が衰えてくると、人の話が聞き取れず、周りの人とコミュニケーションが取りにくくなるなど、社会活動に参加しなくなっていくことが見受けられる。補聴器購入に対する補助の考え方を伺う。

答 難聴者として6級以上の障害者手帳所持者に購入補助を行つてい

る。加齢に伴う軽・中度の難聴者への町独自の補助制度は創設できていないが、高齢者のニーズの多様化に伴い、今後、国において様々な形で補助制度が拡充されることも想定されるので、動向を注視していきたい。

補聴器購入への補助

問 除去中心ではない空き家対策の考えは

答 先進地の事例も参考に町全域での制度を設計

空き家対策の新たな方向性

問 本町の空き家の増加に対し、相談窓口の設置や空き家バンク整備等を含めた総合的な対策について、町としての見解を伺う。

答 先進的に取り組んでいる周辺市町の事例も参考に、町独自の空き家バンク制度の創設など町全域での制度設計が必要と認識している。

子どもの権利尊重

問 本町では、子どもの意見をどのように仕組みで継続的に町政へ反映していくのか、今後の具体的な方針について伺う。

答 子どもの声に耳を傾け、対話を通して施策を形にしていくことが、子どもの権利に根ざしたまちづくり



まつだ たかはる
松田 剛治 議員

QRコードの有効期限は3月下旬まで



(空き家バンクHP)

りであり、白浜町の未来をつくる確かな土台になると考える。具体的な仕組みの一つとして、ユニセフの「子どもにやさしいまちづくり事業」、「子どもの権利条例の制定」といった取り組みを今後進めていく必要があると認識している。

帯状疱疹ワクチン接種の推進

問 带状疱疹ワクチン接種のため、50代からのワクチン接種に公費一部助成を導入できないか伺う。

答 50歳代で接種すると、医師が必要と認めない限り定期接種を受けることができないため、再度ワクチン接種を希望される場合は全額自己負担となる等の理由により、従来通り定期接種に基づく帯状疱疹予防接種を実施していきたい。

観光施策

問 現在、導入を検討している宿泊税の金額とその使途について伺う。

答 宿泊事業者説明会等の資料には、仮に税額を一律300円とした場合の歳入見込みを試算しているが、税額はまだ決まっていない。

また、宿泊税の使途は、観光振興を目的とした予算に充てることとなるが、いずれも今後の宿泊税検討委員会において検討していく。



まさき ひでお
正木 秀男 議員

QRコードの有効期限は3月下旬まで



(白良浜)

問 宿泊税の金額や使途に関する町の想定は

答 今後、検討委員会において検討していく

梶包機により作業を行った後、再生事業所に26,200kgの引き渡しを行っている。引き続き、効果的な資源化に努めていく。

防災・減災施策

問 現在、町が指定する避難所の数と、避難所における空調関係の整備状況について伺う。

答 町では154箇所の避難所を指定避難所に位置付け、そのうち23箇所を町開設の避難所としている。町開設の避難所における空調設備は、学校施設の体育館8箇所を含む10箇所が未整備で、現在、中学校3校の体育館で来年度の整備に向けて実施設計に取り組んでおり、小学校5校の体育館も引き続き事業を進めいく予定としている。

空き家対策の新たな方向性

問 本町の空き家の増加に対し、相談窓口の設置や空き家バンク整備等を含めた総合的な対策について、町としての見解を伺う。

答 先進的に取り組んでいる周辺市町の事例も参考に、町独自の空き家バンク制度の創設など町全域での制度設計が必要と認識している。

子どもの権利尊重

問 本町では、子どもの意見をどのように仕組みで継続的に町政へ反映していくのか、今後の具体的な方針について伺う。

答 子どもの声に耳を傾け、対話を通して施策を形にしていくことが、子どもの権利に根ざしたまちづくり

観光施策

問 現在、導入を検討している宿泊税の金額とその使途について伺う。

答 宿泊事業者説明会等の資料には、仮に税額を一律300円とした場合の歳入見込みを試算しているが、税額はまだ決まっていない。

また、宿泊税の使途は、観光振興を目的とした予算に充てることとなるが、いずれも今後の宿泊税検討委員会において検討していく。



まさき ひでお
正木 秀男 議員

QRコードの有効期限は3月下旬まで



(白良浜)

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、10月2日、3日、6日、7日の4日間にわたり委員会を開催し、令和6年度一般会計および特別会計8件の決算を審査しました。審査にあたっては、決算書により担当課から説明を求めるとともに、「北っこ学童クラブ」、「富田地区津波避難タワー」の現地調査を行いました。以下に、総括意見を掲載します。

決算審査特別委員会審査報告書 総括意見

令和6年度決算は、各種会計において、「第2次白浜町長期総合計画」を基に、「輝きとやすらぎと交流のまち白浜～住んでよい、訪れて楽しいふれあいのまちづくり～」を実現するため、保健医療・福祉、防災対策、生涯学習、観光振興、農林水産業振興、地域振興等の諸施策に対して、取り組まれている。

今後の行政施策の取組においては、同計画を基に、各種施策が展開されるものと思われるが、社会情勢の動向に注視しながら、住民サービスの的確な対応を行い、限られた財源を効果的、効率的に活用した行財政運営を行うとともに、地域バランスや事業の優先順位などを十分考慮しながら、中長期的な見通しを立て、事務事業の執行に取り組まれたい。

歳入においては、人口減少や少子高齢化に伴い町税収の減収が懸念される状況にある中、令和6年度は、原材料価格の高騰など、社会経済の幅広い業種で影響が生じており、依然として厳しい状況下にある。また自主財源の割合は40.7%であり、地方交付税や国庫支出金等に歳入の多くを依存している状況である。

住民生活に身近なサービスを安定的・持続的に提供するには、地域の実情に応じた地域活性化の取組を進め、一般財源を適切に確保していく必要がある。よって、町税、国民健康保険税、各種使用料、手数料等の未収金については、町財政の根幹である自主財源の低下を招くものであることから、公金の徴収・収納に関しては、引き続き各課の連携を密にして徴収業務を実施するとともに、財源の確保と負担の公平性の観点からも、収納対策に取り組まれたい。

歳出においては、財政の深刻度を示す財政健全化判断比率は、それぞれ前年度決算と同程度であるが、財政構造の弾力性を判断するための指標である経常収支比率は、令和6年度決算では94.4%となり、前年度決算より1.2%悪化しており、依然として財政構造の硬直化が続いていることを示している。今後も厳しい財政運営を強いられることが予想される中、行政改革においては、財政再建、経費削減に努められ、民間活力を活用した行政事務等の民間委託やアウトソーシングなどにより、行政のスリム化、効率化を推進されたい。引き続き、時代に即した行政需要に的確に対応し、住民サービスのより一層の向上を図るために、組織、制度や行政運営の在り方を見直し、行財政運営の適正化・効率化を図られたい。また、将来の見通しを的確に把握し、財政健全化に取り組み、町債の残高に留意されたい。

決算審査を行う意義は、「行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用」である。当委員会で出された意見を真摯に受け止め、安定的な財政運営に努め、次年度以降の予算の編成・執行に反映されたい。また、今後とも町民の福祉の向上や質の高い行政サービスの提供を行うなど、施策・事業の計画的推進、重点化及び効果的な財源配分に努められたい。

【委員長】 堅田 府利

【副委員長】 水上 久美子

【委員】 廣畠 敏雄、 松田 剛治、 小森 一典、 正木 秀男、 西尾 智朗、 長野 莊一



(北っこ学童クラブ)



(富田地区津波避難タワー)



(審査の様子)

行政調査報告（総務文教厚生常任委員会）

◇調査年月日 令和7年10月21日～23日

◇調査事項及び調査地

- ・「不登校特例校 富谷市立富谷中学校西成田教室について」（宮城県富谷市）
- ・「東日本大震災からの復興と防災・減災に関する取組について」（宮城県気仙沼市）
- ・「子育て支援アプリ「たがすく」、子育てサポートセンター「すくっぴーひろば」について」（宮城県多賀城市）



報告書の全文は、上のQRコードから
ホームページでご確認いただけます。



（宮城県富谷市 調査の様子）

富谷市では、令和4年4月に不登校生徒のための新たな学びの場として、文部科学省から不登校特例校の指定を受け、富谷中学校の分教室型として西成田コミュニティセンター内に西成田教室を開設しました。授業は少人数制または個別指導により行われ、教員のほか、スクールカウンセラーや支援員が連携して学習面・情緒面の双方を支援している。

また、保護者との連携にも力を入れており、定期的な面談やオンライン連絡ツールを活用して情報共有を密に行なうなど、家庭と学校が一体となり、子どもの成長を見守る体制が整えられている。

富谷市では、令和4年4月に不登校生徒のための新たな学びの場として、文部科学省から不登校特例校の指定を受け、富谷中学校の分教室型として西成田コミュニティセンター内に西成田教室を開設しました。授業は少人数制または個別指導により行われ、教員のほか、スクールカウンセラーや支援員が連携して学習面・情緒面の双方を支援している。

また、保護者との連携にも力を入れており、定期的な面談やオンライン連絡ツールを活用して情報共有を密に行なうなど、家庭と学校が一体となり、子どもの成長を見守る体制が整えられている。

◆宮城県富谷市



（宮城県気仙沼市 調査の様子）

気仙沼市では、東日本大震災で甚大な被害を受けた経験を踏まえ、「津波ゼロのまちづくり」を目指し、防災・減災体制の強化に取り組んでいます。防災行政無線や緊急速報メールなど、多様な手段による情報伝達体制が整備され、避難場所や経路の見直し、地域訓練などが継続的に実施されている。

住環境整備では、住民の意向を反映した復興住宅の整備や、移転先でのコミュニティ維持に配慮したまちづくりが進められています。また、災害時の備えとして、自主防災組織の育成や家庭内備蓄の推進など、住民主体の防災文化が根づいています。

気仙沼市では、東日本大震災で甚大な被害を受けた経験を踏まえ、「津波ゼロのまちづくり」を目指し、防災・減災体制の強化に取り組んでいます。防災行政無線や緊急速報メールなど、多様な手段による情報伝達体制が整備され、避難場所や経路の見直し、地域訓練などが継続的に実施されている。

◆宮城県気仙沼市



（宮城県多賀城市 調査の様子）

子育て応援アプリ「たがすく」は、妊娠期から中学生までを対象とした子育て家庭向けの総合支援アプリであり、母子手帳機能、予防接種スケジュール管理、子育てイベント情報の配信など、生活に密着した多機能な仕組みが備えられています。

多賀城市では、ICTを活用した子育て支援と、地域全体で子育てを支える拠点施設の整備を進めています。子育てサポートセンター「すくっぴーひろば」では、乳幼児向けの遊び場や授乳室、相談室が整備され、交流やイベントなど、多様な活動を通じて、子育て家庭の孤立防止と交流促進が図られています。

◆宮城県多賀城市

防災関連記事

災害時に命を守る一人ひとりの防災対策

①防災対策で重要な「自助」とは？

災害による被害をできるだけ少なくするには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。その中でも基本となるのは、「自助」、自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身を守ることです。

「自助」に取り組むためには、まず、災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や津波などに遭遇したときの身の安全の守り方を知っておくことが必要です。また、身の安全を確保し、生き延びていくためには、水や食料などの備えをしておくことも必要です。

②家の中の安全対策のポイントは？

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには、「家具は必ず倒れるもの」と考え、家具の配置や向きを工夫するとともに、壁に固定するなどの対策をしておきましょう。また、地震の発生時にどのような危険があるのかを考え、手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。

③ライフラインの停止や避難への備えは？

大災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。ライフラインが止まっても自力で生活できるよう、ふだんから飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大事です。

また、災害発生時は、危険な場所にいる人は避難することが原則です。自宅が危険な場合は、避難場所だけでなく、安全な親戚や知人宅などに避難することも考えましょう。場合によっては、そこで避難生活を送ることも考え、避難所生活に必要なもの（非常用持ち出し品）をリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。

<災害時に備えた備蓄品の例>

- ・飲料水…一人1日3リットルを目安に、3日分を用意
 - ・食品…ご飯（アルファ米など一人5食分を用意）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、一人最低3日分の食料
 - ・下着、衣類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットこんろなど
- (注) 非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「1週間分以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。
- (注) 飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日ごろから水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしておきましょう。

<非常用持ち出し品の例>

- ・飲料水、食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
- ・貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）
- ・救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
- ・ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手、懐中電灯、衣類、下着、毛布、タオル、使い捨てカイロ、携帯ラジオ、予備電池、ウェットティッシュ、洗面用具など

出典：内閣府「災害時に命を守る一人ひとりの防災対策」



町議会・町議会議長の主な動き（10月～12月）



10月	2日	決算審査特別委員会
	3日	決算審査特別委員会
	4日	HIKI OPEN TENNIS 2025
	5日	第59回町民体育大会
	6日	決算審査特別委員会 / 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会（和歌山市）
	7日	決算審査特別委員会
	9日	議会広報特別委員会
	16日	熊本県水俣市議会 総務産業常任委員会 視察来庁
	21日	総務文教厚生常任委員会 行政調査（宮城県）
	22日	総務文教厚生常任委員会 行政調査（宮城県）
	23日	総務文教厚生常任委員会 行政調査（宮城県）
	25日	第7回「みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」
	28日	令和8・9年度（後期高齢者医療）保険料率（案）説明会（田辺市）
	29日	第16回シニアレクリエーション大会 / 投身者供養
	30日	九度山町議会 産業厚生常任委員会 視察来庁
	31日	田辺周辺広域市町村圏組合 監査（田辺市）

11月	4日	豊水神社例祭
	5日	高齢者運動会 / 県町村議会議長会 委員長・副委員長研修会（和歌山市）
	7日	公立紀南病院組合議会（田辺市）
	9日	第33回南紀日置川リバーサイドマラソン大会
	10日	西牟婁郡町村議会議長会政務調査（神奈川県）
	11日	西牟婁郡町村議会議長会政務調査（神奈川県）
	12日	第69回町村議会議長会全国大会（東京都）
	13日	人権を大切にする地域づくり講演会
	14日	田辺市及び周辺町議会正副議長会 研修会（田辺市）
	17日	紀南地方老人福祉・児童福祉施設組合議会 / 紀南環境広域施設組合議会（田辺市）
	18日	全員協議会 / 総務文教厚生常任委員会
	21日	公立紀南病院組合議会（田辺市）
	25日	議会運営委員会 / 富田川衛生施設組合議会
	28日	田辺周辺広域市町村圏組合 監査（田辺市）
	30日	白浜町総合防災訓練

12月	2日	第4回定例会（第1日） / 全員協議会
	8日	大辺路衛生施設組合議会（すさみ町）
	11日	第4回定例会（第2日） / 議会運営委員会
	12日	第4回定例会（第3日） / 議会運営委員会 / 消防団忘年会
	16日	第4回定例会（第4日） / 議会運営委員会 / 総務文教厚生常任委員会
	17日	第4回定例会（第5日） / 議会運営委員会 / 全員協議会 / 議会広報特別委員会
	24日	田辺周辺広域市町村圏組合議会（田辺市）
	25日	富田川治水組合議会（上富田町） / 公立紀南病院組合議会（田辺市）

2月定例会

日	月	火	水	木	金	土
2/8	9	10 第1日 提案説明	11	12	13	14
15	16	17	18	19 第2日 一般質問	20	21
22	23	24	25	26	27 第3日 議案審議	28

※次回の定例会は、2月10日から27日まで開催予定です。

また、会期中に予算審査特別委員会の開催を予定しています。
詳しい日程などは、議会事務局までお問い合わせください。

町議会議員一般選挙

任期満了に伴う白浜町議会議員一般選挙が3月10日（火）に告示され、3月15日（日）に投開票が行われます。

◆投票

◇日時 3月15日（日）午前7時から
※投票終了時間は、投票所によって異なります。後日送付される投票所入場整理券に記載の投票終了時間をご確認ください。

◆開票

◇日時 3月15日（日）午後8時から
◇場所 白浜会館（白浜町1番地の1）

※詳細は、白浜町選挙管理委員会（43-6583）にお問い合わせください。

田辺市及び周辺町議会 議員研修会



11月14日に田辺市及び周辺町議会 議員研修会が開催され、白鳥 浩氏（法政大学大学院公共政策研究科教授）を講師に招き、「地域から変えよう日本の政治」をテーマに講演いただきました。

議会だより



議会だより HP

過去の議会だよりについて、平成26年分からホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



会議録 HP

本会議の会議録について、平成23年分からホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

編集後記

寒さが一層厳しさを増す季節となり、町内でも朝晩の冷え込みが続いています。インフルエンザの流行も心配される時期ですので、皆様、体調には十分お気をつけてお過ごしください。

さて、昨年の12月定例会では、ふるさと納税や国の交付金を活用した生活支援商品券配付事業等に関する補正予算に加え、宿泊税導入に向けた取り組み状況、

リヴァージュ・スパひきがわの公募売却先の決定など、令和8年度に向けた重要な案件を審議いたしました。本件を含む令和8年度予算については、議会としても、2月定例会等において、引き続き丁寧に議論を重ねてまいります。

まだまだ寒さの続く折ではありますが、皆様にとりまして穏やかな毎日となりますよう、心よりお祈り申し上げます。（堅田）